



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日

上場会社名 シノブフーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2903 URL http://www.shinobufoods.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 崇志  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部副本部長 (氏名) 長尾 正史 (TEL) 06(6477)0113  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	39,800	7.2	1,148	23.5	1,158	22.6	1,022	60.4
2019年3月期第3四半期	37,118	4.1	930	8.5	945	9.5	637	9.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,021百万円( 54.3%) 2019年3月期第3四半期 661百万円( 10.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2020年3月期第3四半期	円 銭 82.39	円 銭 80.78
2019年3月期第3四半期	50.54	50.08

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2020年3月期第3四半期	百万円 30,324	百万円 12,763	% 41.6
2019年3月期	27,850	11,952	42.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 12,625百万円 2019年3月期 11,808百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年3月期	円 銭 —	円 銭 7.50	円 銭 —	円 銭 8.50	円 銭 16.00
2020年3月期	—	8.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	6.0	1,250	15.2	1,250	14.0	1,070	42.6	86.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	13,500,000株	2019年3月期	13,900,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,094,801株	2019年3月期	1,496,270株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	12,404,425株	2019年3月期3Q	12,611,624株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続きましたが、通商問題を巡る緊張の増大や金融資本市場の変動など、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、中食業界で事業を展開する当社グループの経営環境は、天候不順などに起因する原材料価格の高止まりや労働コストの上昇に加え、消費増税の影響など引き続き厳しい状況となりました。

こうした状況下、当社グループは中期経営計画（2016年3月期～2020年3月期）における4つの基本戦略、「継続的な売上成長」、「コスト競争力の強化」、「人材の育成」、「環境への取り組み」に基づき目標達成に向け取り組んでおります。

販売面では、ラップおにぎりのおおきなおむすびシリーズがご好評をいただき、売上高は堅調に推移いたしました。また、より多くのお客様に商品のコンセプトを知っていただくため、昨年に引き続き「フードストアソリューションズフェア2019」へ出展し、新規カテゴリーの商談や新規取引先の開拓など、継続して販売力の強化に取り組ましました。さらに「さば竜田の甘酢あんかけ弁当」が「日本雑穀アワード2019」デイリー食品部門で金賞を受賞するなど、お客様の健康志向に沿った商品の開発に加え、内製化にこだわった調理方法の研究などおかげで一品一品を美味しくするための取り組みを行いました。

生産面では、新関西工場（大阪市西淀川区）が7月から順調に稼働を開始し、HACCPによる高い衛生管理体制の整備や、生産性向上のための最新機器の導入により、引き続き安全安心な商品を提供してまいります。

コスト面では、精米等の価格が高止まりで推移しておりますが、購買部による肉類や野菜等の調達方法の見直しなどでコストの低減を図り、また、人員不足に起因する労務コストの増加については、積極的な設備投資による省人化に取り組ましました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高398億円（前年同四半期比7.2%増）、営業利益11億4千8百万円（前年同四半期比23.5%増）、経常利益11億5千8百万円（前年同四半期比22.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、旧関西工場の土地、建物の固定資産売却益222百万円を特別利益に計上し、10億2千2百万円（前年同四半期比60.4%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、有形固定資産の増加を主因に前連結会計年度末に比べ24億7千4百万円増加し、303億2千4百万円となりました。当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、長期借入金の増加を主因に前連結会計年度末に比べ16億6千3百万円増加し、175億6千1百万円となりました。当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益10億2千2百万円を計上する一方で、配当金の支払2億4百万円等により前連結会計年度末に比べ8億1千万円増加し、127億6千3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、2019年11月5日に公表しました2020年3月期通期連結業績予想を修正いたします。

売上高は、コンビニエンスストアやスーパーマーケットにおいて、主力の弁当、おにぎりが計画どおり堅調に推移しております。

利益面は、精米価格の高止まりや人員不足に起因する労働コストの上昇がありますが、主要食材の調達方法の見直しや、機械化による省人化などに積極的に取り組んだことで改善しております。一方、第4四半期で、職場環境の整備や生産機器の改修、名古屋工場の増築棟の立上げなどを予定しており、これらを考慮しても前回予想数値を上回る見込みです。

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	52,000	1,100	1,100	970	78 20
今回修正予想(B)	52,000	1,250	1,250	1,070	86 30
増減額(B-A)	0	150	150	100	
増減率(%)	0	13.6	13.6	10.3	
(ご参考)前期通期 (2019年3月期)	49,068	1,084	1,096	750	59 53

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,484	3,632
売掛金	5,003	5,491
商品及び製品	24	24
原材料及び貯蔵品	234	281
その他	178	502
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	9,923	9,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,030	7,377
機械装置及び運搬具（純額）	2,690	3,501
土地	7,348	7,050
建設仮勘定	3,822	1,380
その他（純額）	274	395
有形固定資産合計	17,167	19,705
無形固定資産	70	91
投資その他の資産		
その他	700	605
貸倒引当金	△12	△10
投資その他の資産合計	688	595
固定資産合計	17,926	20,392
資産合計	27,850	30,324
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,625	4,032
1年内返済予定の長期借入金	1,468	1,748
未払金	2,041	2,255
未払法人税等	285	97
賞与引当金	294	145
その他	639	415
流動負債合計	8,353	8,694
固定負債		
長期借入金	7,235	8,594
退職給付に係る負債	171	152
その他	137	120
固定負債合計	7,543	8,866
負債合計	15,897	17,561

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,693	4,693
資本剰余金	3,254	3,015
利益剰余金	4,701	5,518
自己株式	△893	△653
株主資本合計	11,755	12,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56	53
退職給付に係る調整累計額	△3	△2
その他の包括利益累計額合計	53	51
新株予約権	115	133
非支配株主持分	28	4
純資産合計	11,952	12,763
負債純資産合計	27,850	30,324

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	37,118	39,800
売上原価	29,457	31,605
売上総利益	7,661	8,195
販売費及び一般管理費	6,730	7,047
営業利益	930	1,148
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	12	22
受取保険金	9	8
その他	17	17
営業外収益合計	39	49
営業外費用		
支払利息	20	35
その他	3	2
営業外費用合計	24	38
経常利益	945	1,158
特別利益		
固定資産売却益	—	222
違約金収入	—	32
特別利益合計	—	255
特別損失		
固定資産売却損	—	5
固定資産除却損	13	35
特別損失合計	13	41
税金等調整前四半期純利益	932	1,372
法人税、住民税及び事業税	244	258
法人税等調整額	47	91
法人税等合計	292	349
四半期純利益	639	1,023
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	637	1,022



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	639	1,023
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23	△3
退職給付に係る調整額	△1	1
その他の包括利益合計	21	△1
四半期包括利益	661	1,021
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	659	1,020
非支配株主に係る四半期包括利益	2	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。